

城北まちづくり通信

2021/6/2

15号

城北まちづくり協議会
事務局：城北地区公民館

城北まちづくり協議会 書面決議の審査結果(報告)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、通常総会の開催を中止し、各議案について委員のみなさんに書面決議により審議をいただきました。その結果が下記のとおり判明しましたので、報告します。

審議書に対して“ご意見”がありましたので、主な内容を列挙し回答内容を記載させていただきます。

・城北まちづくりいきいきプラン：子どもから障がいのある人、老人まで誰もが参加して、共に学び育ち合う場として誕生した「城北太鼓クラブ」で一番困っていたのが、他地区へ太鼓を移動する際にトラックを借りることでした。共助トラックが使えることは、本当に有難く、待っていましたと言いたいです。

■ 有限会社ウコン自動車様からの「軽トラック(オートマチック4WD)」寄贈のお申し出を受け、鳥取市(協働推進課)・陸運局・軽自動車検査協会等と事前の折衝に着手しました。その過程で、使用規定等の作成も含めて、解決しなければならない課題が数多くありました。何分にも鳥取市に前例がありません。城北まちづくり協議会が軽トラックを所有し「共助トラック」として有効活用することで、地域課題が解決され、地域活動の活性化と、新たな「城北のにぎわい」の創出が期待できる趣旨を明確にすることで解決できました。

・議案第4号について試みとしては賛成ですが、自治活動の活性化につながる中身になるかは大きな疑問符が付く。

■ 「地域の“話し愛・支え愛”推進事業」モデル地区指定を受ける目的は、これを契機にして、『城北まちづくりいきいきプラン』・『これまでの継続事業』を見直すことです。地域力を活性化するためには、住民個々が“我が事”として考え、“できることで皆が実践する”ことが重要だと考えます。「この指さ～ばれ！」ではありませんが、一人でも多くのみなさんが、同じ方向に向かって繋がりを続けることが重要だと考えています。“他人まかせ”・“行政まかせ”では、スローガンの達成はできません。

協議会は「ビジョン」を示すことは出来ますが、「ミッション」・「パッション」・そして「アクション」は、城北地区住民個々の人間力に負うところが大きいです。城北地区の住民性(力)を信じて提案しています。

議決権行使者=提出部数 62
規約；第3条(構成員)

- ①城北地区に存する各種団体の団体長(代表)。
- ②城北地区住民で、会長の推薦を受けた者。

議案	賛成	否決
議案第1号 令和2年年度活動報告ならびに収支決算報告の承認について	62	0
議案第2号 令和3年度活動計画ならびに収支予算(案)の承認について	62	0
議案第3号 城北まちづくり協議会「軽トラック」所有の承認について	62	0
議案第4号 鳥取市「地域の“話し愛・支え愛”推進事業」モデル地区指定受諾の承認について	62	0
議案第5号 令和3年度役員選任の承認について	59	3

裏面へ つづく

【ご意見への回答】 つづき

・議案第2号 収支予算での支出の活動費、一括交付金Ⅰ・Ⅱのくくりが大雑把で不明朗になっている。

- 一括交付金Ⅰは「コミュニティ育成支援事業運営補助5万円、活動補助40万円」。一括交付金Ⅱは「生涯学習委託事業48万5千円、公民館運営費9万7千円」。これまでは、“一括交付金Ⅰ”の内訳はまちづくり協議会の“活動計画と予算”の中で公表してきました。また、“一括交付金Ⅱ”の内訳は、公民館運営委員会の総会で公表してきました。
今年度から、組織を一体化して一括交付金制度を導入するにあたって、一般的な収支予算の公表方法に変更すべきだったと考えます。
次年度の検討課題とさせていただきます。

・地区の行事、特に防災訓練等には若い力が必要になります。是非、中学・高校生の参加をお願いしたい。次世代の人材を育てる必要を感じました。

- 防災訓練に限らず、地域の行事に“参加出来る時には、参加する子どもを育てる”といった風土を根付かせることが重要だと考えます。青少年育成協議会のJJS活動であったり、城北太鼓クラブ創設のねらいもそこにあります。“城北愛”・“社会性”・“持続可能な地域づくり”心を育む取り組みです。
学校に理解を求めたり、子ども達への参加の呼びかけはしますが、最終的には、「子どもは親の背中を見て育つ」ともいいます。周りの大人の姿勢が、子ども達の参加を遠ざけているのかもしれませんが、強制しても、なんら解決には結びつきません。子ども達には責任はないと考えています。因みに、若い力が参加している町内会もあります。

・地区の主な事業（住民運動会・敬老会・納涼祭・文化祭など）の年次計画表を示して欲しい。

- 地域イベントの年次計画表は、8年前から自治会（町内会長会）で、毎年、提示されてきています。しかし、コロナ禍でイベントの開催予定が崩れてしまいました。感染症収束時期が見通せない状況です。これまでの、年次計画に沿ってそれぞれの立場で開催準備を粛々と進めることとなります。それぞれのイベントの“第1回実行委員会”で、開催の可否が協議され決定されます。ところで、本年度は「コミュニティ・カレンダー」を作成する予定です。

・旧公民館跡地の利用を議論してほしい。空地駐車場の多い場所に、その上 駐車場は不必要。公園が良い。是非 実現を・・・。

- 鳥取市は、旧公民館を解体することにしていきます。跡地利用について、地域の意向が反映されるものと理解していますが、その後、はっきりとした市の回答をいただいていないのが現状です。
まちづくり協議会：行政分野アドバイザー（吉野市議）と共に、跡地利用に対する市の考え方を聞きたいと思います。“地域の意向を反映する”となれば、住民の意思のとりまとめに着手します。